

元日に発生した「令和6年能登半島地震」は、最大震度7を観測する県政史上未曾有の大災害となった

物資支援の円滑化

〈避難所 (公民館等)〉



多くの被災者が避難
(高齢者、帰省・観光客など)

物資

〈物資拠点〉

物資調達・輸送調整等支援システム (内閣府防災)



物資拠点 (金沢市内)

次から次と届く義援物資
(24時間の受け入れ体制)

避難者把握

被災地の情報格差(デジタルデバイド)対策

- ・分かりやすい制度設計(タッチのみ)
- ・入浴利用者名簿の省略



「タッチ！」で把握

- ◆ 避難所の入退所時
- ◆ 公的サービスの享受
- ◆ 支援メニューの申請 等



富来活性化センター (志賀町)

マイナンバーカードの携帯者が少なく、
応急手段としてSuicaを配布し、
避難者の生活支援に活用

被災者の移動手段

市内の2次避難者支援のため移動手段を確保

- ・金融機関 (ATM)へ移動のため
- ・日用品等の買い物のため



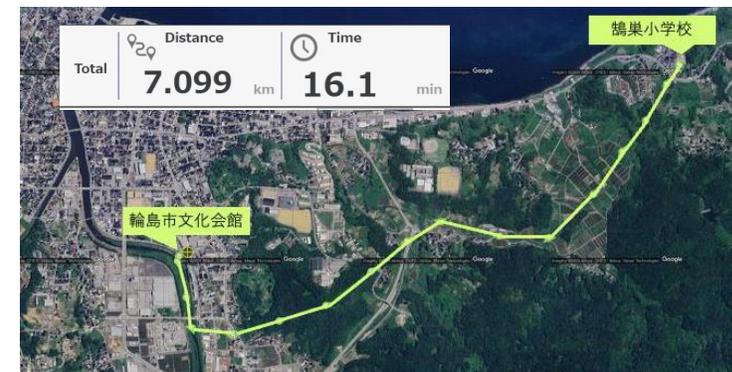
ライドシェア「i-Chan」
(石川県小松市)

2次避難者には無料クーポンを配布

孤立集落へのドローン配送

孤立集落の避難所まで徒歩で5~6時間

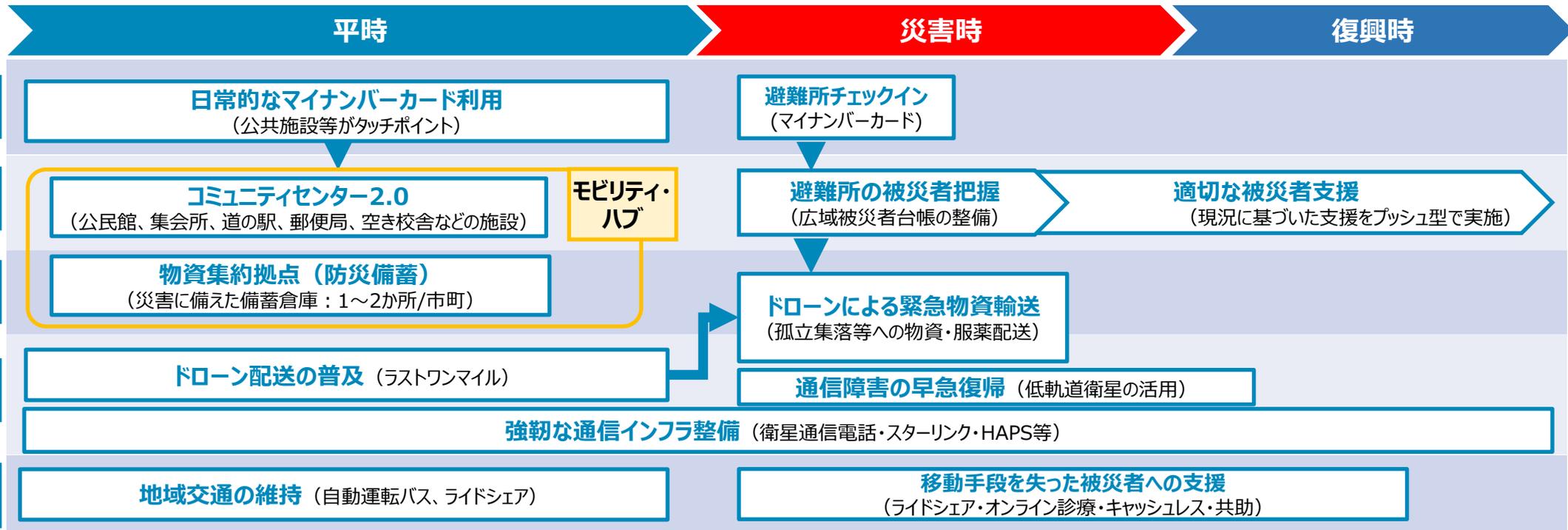
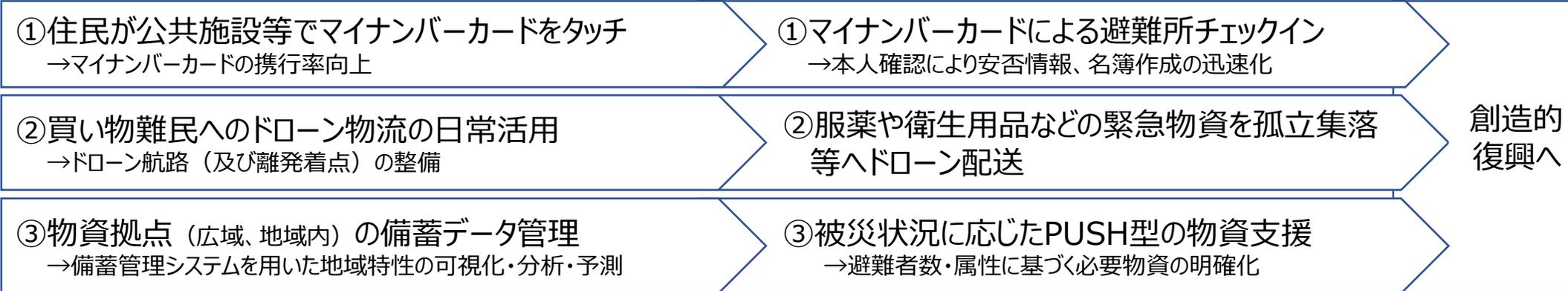
→ ドローンで16分程度



1月8日~14日で計11回 (輪島市・能登町) の飛行
 配送総重量: 21.69kg
 飛行総距離: 61.93km
 飛行総時間: 140.8分間

平時から備えるデジタルライフライン

デジタルライフラインが災害時にスムーズに機能するよう、平時からの備えや日常活用が重要である



- ✓ **強靱な通信環境の整備**
 - ネットワークの冗長化、スターリンク等による補完
- ✓ **ドローン航路（及び離発着点）の整備**
 - 広域物流拠点から地域内拠点、さらにコミュニティセンター2.0へ航路の整備
 - 地域防災計画への組み込み
- ✓ **地域住民とのコミュニティセンター2.0の接点強化**
 - マイナンバーカードと連動した住民利便性の向上
 - ex.有事の避難者名簿の作成、行政手続きのオンライン化、キャッシュレス

**デジタルライフラインの地域展開とともに、
災害に強い地域づくりを推進していく**